

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2月16日～2月22日)

2021年2月24日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 中国、ベラルーシに対し中国製新型コロナウイルスワクチン10万回分を無償提供。(2/19)
- 米国、2020年8月の大統領選後の対ベラルーシ三次制裁を導入。(2/19)
- ロシア・ソチを訪問し、プーチン露大統領と会談。(2/22)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ロシア・ソチを訪問し、プーチン露大統領と会談

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・両国ともに多くの事を実行してきた。以前、二国間協力の約30ものロードマップが用意されていた。前回のソチの会談において、両政府がこれらに取り組むと合意した。実際、両政府は、その形式を更新した。本日セマシュコ駐露ベラルーシ大使は、私に対しロードマップのうち、6～7件は作業中であるが、残りは署名に向け用意されている、と報告した。
- ・ベラルーシ経済に対するロシアからの支援に感謝申し上げる。ベラルーシの貿易高の約半分はロシアと関連している。比較的小国であるベラルーシが、ロシアの貿易相手国第4位を占めている。我々は、ロシアから頂いたお金を無駄にしているわけではない。我々は、ロシアで非常に多くの部品や原材料を調達し、ベラルーシで完成品の製造に力を入れている。そしてこの調達量は年々増えている。我々の考える案件が実現すれば、ロシアからの輸入は大きく拡大する。
- ・オストロヴェツ原発の完全稼働によって、天然ガス約50億m³分の節約となる。しかし、グロドノにおける窒素工場の設立計画を考慮すると、ベラルーシの天然ガス需要は、下がることはない。同計画は、総額12億～13億(ドル)である。新工場の設立だが、同様の工場は既にグロドノにあり、我々には知見がある。窒素肥料の製造を拡大したい。もし本案件を深掘りするよう貴大統領より依頼があれば、我々はガスプロム社と共に実現する用意がある。
- ・教育における協力に関して、ベラルーシ人学生が露

高等教育機関で学べるようにしていただいております、感謝する。我が国も相応の教育水準にあるが、ベラルーシの若者は、優れた学問を身に付けるためロシアの高等教育機関を積極的に活用している。

・新型コロナウイルスとの闘いに関して、貴国では既に3つの登録されたワクチンがあり、現在開発中とのこと。我々も、この道(自国製ワクチン開発)に進んでいる。秋には、自国製ワクチンができるであろう。しかし、現在は、貴国において積極的に購入している。このワクチンは、ロシアの研究水準の高さを物語っている。これは、我が国の研究者がロシアの研究を学ぶという意味で大きく影響している。ロシアの研究者が我が国に訪問している。ここに障壁はない。露製ワクチンの自国生産は3月から開始する。

・また、二国間の鉄道移動の開放、輸送量増加、両国民の空路移動について私の依頼に耳を傾けてくれたことに感謝する。乗用車で移動もできるようになるまでそんなに遠くないであろう。

・ロシアは専門家をベラルーシに派遣し、彼らは、ロシアとベラルーシにおける新型コロナウイルスの感染度合いがほぼ一緒であると確信した。幸いなことに、急速に感染度合いが改善しており、秋口、あるいは夏には、新規感染者0に近づくであろう。

プーチン露大統領の発言要旨は以下の通り。

・ワクチンについては、生産に必要な技術はベラルーシに渡してある。新型コロナとの闘いにおける二国間の協力は上手くいっている。露製ワクチンの第一ロットは昨年提供し、今年の2月、そして3月には更なる提供を行う。しかし、私の目線で言えば、貴国の企業

における生産が大事であろう。ワクチンに関し、我々がベラルーシ以上にここまで密接に取り組んでいる国はない。

・二国間協力について、財務支援は重要であるが、さらに肝要なのは、実体経済における共同作業と共同企業である。実際、コロナ禍において、二国間貿易高は15%減少したが、285億ドルであり、これは重要な数字である。

・我々の相互協力の指針は反映されており、上手く機能している。我々の同僚が連絡を取らず、何らかの問題を解決しない日はない。戦略的パートナーシップや(国家)連合における相互協力の水準が確認できたことを嬉しく思う。

(2/22 大統領公式ホームページ)

●ヤンカ・クパーラ国立劇場を訪問

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・昨年の出来事(抗議運動及びラトウシユコ前劇場長の辞任)について、私は、創造性のある知識階級である皆様を心配した。人生では色々なことがおきる。誰かが何かに賛成できないこともある。自身の意見や不同意を述べることはかまわない。しかし、法律に違反することはいけない。

・本劇場は国の財産であり、失われることはあってはならない。必ず再興される。

(2/19 大統領公式ホームページ)

●ラポータ・ベラルーシ・ロシア連合国家書記と会談

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・第6回全ベラルーシ国民会議への出席に感謝申し上げる。

・2月下旬にロシアでプーチン露大統領と会談予定である。巷では私が彼に30億ドルの供与を請願するためにロシアを訪問すると言われているが、そうではない。

・また、ロシア訪問時には、メドヴェージェフ安全保障会議副書記とも面談し、国家の防衛と安全保障について協議する予定である。

・ロシアもベラルーシと同様に制裁で脅されている。し

かし我々は、ほぼ全てを自給自足できる。幾つかの部品については現時点では作れないかもしれないが、3年から5年で作れるようになる。我々にはポテンシャルがある。協力によって、あらゆる分野で成功できるだろう。

・鉄の規律が大事であろう。かつて(1998年の)長野五輪を視察した際、とある日本人に、日本とソ連圏の違いについて尋ねた。彼は、「日本では一人が決定し、残りの99人が話し合いもなく、実行する。ソ連圏では、99人が決定し、1人がそれを実行しなければならない。」と述べた。これは中国でも同様であり、彼らが世界の主要経済国たる理由である。

(2/18 大統領公式ホームページ)

●国産二輪車製造の会議に出席。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・ベラルーシでは1945年にバイク・自転車等二輪車の製造が開始された。現在、健康的なライフスタイルに対する需要が高まり、コロナ禍にあっても二輪車市場は成長している。

・ベラルーシ市場に目を向けると、国内ブランドのシェアは年々減少しており、現在は20%程度となっている。

・ミンスク自動車工場、ミンスク冶金工場、ベラズ社、ゴメリ農機工場等の機械製造企業は、ベラルーシの顔であるが、二輪車製造も同様であり、失ってはならない。

(2/16 大統領公式ホームページ)

【外交】

●在ベラルーシ EU 各国大使館、米国大使館、英国大使館、ベラルーシ治安当局による人権活動家、記者、労働組合活動家への圧力に対して抗議する共同声明を発出。

(2/17 ベラパン通信)

●在ベラルーシ米国大使館、ベラルーシ裁判所によるペルサト通信記者、アンドレエヴァ氏及びチュリツォヴァ氏に対する2年間の自由剥奪刑の決定に対し、

批判の声明を発売。

(2/18 ベラパン通信)

●米国下院、ベラルーシ国民及び民主的熱意への支援、並びにルカシェンコ政権による平和的抗議者に対する残酷な圧力を伴う選挙偽造に対する批判に関する決議を採択。

(2/18 ベラパン通信)

●中国、ベラルーシに対し中国製新型コロナウイルスワクチン 10 万回分を無償提供

(2/19 ベラパン通信)

●米国、2020 年 8 月の大統領選後の対ベラルーシ三次制裁を導入。

(2/19 ベラパン通信)

●ゴロフチェンコ首相、ミシュスチン露首相と電話会談し、ベラルーシ石油製品のロシア港での輸送・積み替え案件(2 月 19 日署名)等、多様な分野での二国間の協力について協議。

(2/20 ベラパン通信)

【経済】

●2020 年、2019 年対比ベラルーシ国内赤字企業数 11%増加、純利益額は 43%減少。

(2/16 ベラパン通信)

●2021 年 1 月、産業生産高、昨年 1 月対比、8.5%増加。

(2/16 ベラパン通信)

●2021 年 1 月、農業生産高、昨年 1 月対比、0.2%増加。

(2/16 ベラパン通信)

●2021 年 1 月、ベラルーシ GDP 成長率、昨年同期

対比 1.3%。

(2/17 ベラパン通信)

●2020 年、中国・ベラルーシ共同産業特区「巨石」の新規入居者数は 13 社(投資総額 8 千万ドル)

(2/18 ベラパン通信)

●ベラルーシ企業不良債務額、2020 年で 60%増加。

(2/19 ベラパン通信)

●1 月、ベラルーシ国内住宅建設量、昨年 1 月対比、40%増加。

(2/22 ベラパン通信)

【内政】

●内務省組織犯罪・汚職対策総局、記者や人権活動家に対し、家宅捜索を実行。

(2/16 ベラパン通信)

●ヴィクトル・ババリコ元大統領候補(当館注:昨年の大統領選に立候補したものの、同年6月18日、資金洗浄や賄賂の容疑で逮捕され拘留中。)及びベルガスプロム銀行幹部に対する公判の実施

(2/17 ベラパン通信)

●エドゥアルド・ババリコ氏(ヴィクトル・ババリコ氏長男。ヴィクトル氏同様、昨年6月18日、脱税容疑で逮捕され拘留中。)の拘束期間、2ヶ月延長。

(2/18 ベラパン通信)

【抗議側の動き】

●チハノフスカヤ元候補、記者や人権活動家に対する家宅捜索に関し、コメント。

・政権は、政治犯を支援し、ベラルーシ国民の自由を求める闘争について論じている者の中から犯罪者を捜そうとしている。犯罪者を見つけるには、特別治安部隊や組織犯罪・汚職対策総局のオフィスを覗く必要があろう。

・権力の維持のため、政権は人々の権利を守ろうとす

る方々に対し圧力を加えており、これは国家の危機である。

・このような行動によって、ルカシェンコは、自身や側近に対する国際裁判への証拠を集めてしまっている。我々は、既に EU や国連に情報提供済みである。

(2/16 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、第 46 回国連人権理事会オンライン会議に参加し、ベラルーシにおける人権侵害に関する国際捜査実施のための国連・欧州安全保障協力機構のメカニズムへの賛成を要請。

(2/18 ベラパン通信)

(了)